

金賞

「空も水もきれいな福島市へ」

福島市立西信中学校

佐藤 光莉

「空も水もきれいなみどりのまち」は福島市民憲章の第一の条文です。この条文を目にしたとき、福島市民が一丸となって目指していかれたらとても素敵なことだと思いました。なぜなら他の条文と違って目に見える事だからです。

私の住んでいる佐原地区は、山に囲まれ自然が豊かで、あたりまえのように「空も水もきれいなみどりのまち」があります。小学生の時の総合学習の授業では、田植えや稲刈りを体験し、サツマイモなどの野菜を育て収穫したりしました。また、みどりの少年団の活動では学校の花壇に花を植えるなど、佐原の自然やみどりにふれる活動や体験を沢山してきました。そしていつも地域のボランティアの方々から色々なことを教えてもらいました。地域の方々には皆、自分の住んでいる佐原や佐原の自然が好き

ということが伝わってきて、私も自分の住んでいる地区が大好きになりました。

ある日、近くのあづま総合運動公園でイベントがありました。普段、佐原人が少ないので沢山の人が来てくれるのは大変うれしいと思っていました。ところが、イベントの翌日、自宅近くの自動販売機の脇のゴミ箱には、入りきらなかったペットボトルや缶、ゴミがあふれかえり、歩道にもゴミが多く落ちていました。私は自分の家を汚されたような気持ちになり、気分がよいものではありませんでした。このままでは佐原の自然が汚されてしまうと感じました。

自分でも何かできることはないかと思い、地域の清掃活動のボランティアに母と参加しました。大好きな佐原からゴミが減っていくのはとても気持ちがいいものでした。今年の夏休みにも地域の清掃活動に参加しました。今年はゴミがとても少なくなれしく思いました。

地域の活動に参加して感じたことは、佐原地区の住民は皆協力的だということです。地区の交差点脇にある花壇には、春に

はチューリップ、夏にはサルビアとマリーゴールド、秋・冬にはパンジーなど四季折々の花が咲きます。その花は町内会で毎月二回、早朝に集まって手入れをしていることを知りました。あたりまえにある佐原のきれいな町は、あたりまえにあったのではなく地域の方々が常日頃から町をきれいにしていくこう、自然を大切にしようという気持ちで過ごしているから、空も水もきれいな緑のまちが続いているのだと思います。

市民憲章は、市での目標ですが、まずは自分の住んでいる身近なところから、ひとりひとりが心がけていくことで「空も水もきれいなみどりのまち」が福島市全体に広がると思います。私はこれからも地域の活動に積極的に参加し、大好きな佐原をそして福島市を、素敵な町にしていきたいです。